



時代の変化に柔軟に対応できる子の育成

校長 早川 和男

鮮やかな新緑に風薫る季節となり、新年度が始まってから1か月が経とうとしています。子どもたちも入学・進級の緊張からだいぶ解放されて、自分らしさが出てきたところ です。

4月10日に、「1年生を迎える会」を行いました。6年生に手を引かれ、入場してくる1年生の初々しい姿を見ると、そのかわいらしさに思わず目尻が下がります。逆に3月までは5年生だった新6年生の方はぐっとたのもしくなって、見違えるようです。6年生は、入学式の翌日から登校してくる1年生を昇降口で出迎え、教室まで連れて行き、学習用具の準備をしたりトイレに連れて行ったりしてくれています。1年生にとってはとても頼りになる存在です。



さて、話は変わりますが、「平成」の時代が終わり、5月からは「令和」の時代が始まりました。「令和」は、日本の248番目の元号で、出典は万葉集。「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味が込められているということです。私たちは昔から受け継がれてきた先人たちの知恵や考え方を受け継ぎ、さらに自己の考えを広げ深めていかなければなりません。小平十三小も昨年度が開校50周年を迎えましたから、今年度は51年目の新たなステージへと踏み出したと考えられますし、奇しくも教育の世界でも新学習指導要領が告示され、新たな教育への転換を進めている真っ最中です。例えば、道徳の時間は教科化され、『特別の教科 道徳』となります。今までの「教材を読む道徳」から「考える道徳」、「議論する道徳」へ転換します。また、5、6年生の外国語活動も教科となり、年間70時間の授業を行うようになります。英語を「読む」「書く」の活動も入ってきます。

このように、時代（時間）はどんどん流れていき、社会はめまぐるしく変化しますが、その時代の変化に柔軟に対応できる子どもを育てることが学校に求められています。そのために本校では、子どもたちに基礎的・基本的な学力を確実に身に付けるとともに、熟考し判断し表現する「生きる力」を育てていきたいと考えています。それには家庭学習等、各ご家庭にご協力をお願いすることもありますので、家庭と学校が車の両輪になって子どもたちを育てていけますよう、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

○十三小の校庭では、毎朝、ラジオ体操会連盟の皆さんが、朝6時30分からラジオ体操をされています。チャンスがあれば、お子さんと一緒に参加されてみてはいかがでしょうか。

○5月の芝刈りの予定

月曜日 (15時30分～)	水曜日 (15時30分～)	金曜日 (15時30分～)
13日 20日 27日	8日 15日 22日 29日	10日 17日 24日 30日

※開始時刻から1時間程度(1日、1回からでも大丈夫です。)

一緒に子どもたちのために
芝生を守りましょう！